泊村老人ホームむつみ荘広報

アシルとまり

アシルとはアイヌ語で新しいという意味です。

〒045-0202
古宇郡泊村大字茅沼村711番地3
社会福祉法人　黒松内つくし園
泊村老人ホーム　むつみ荘
ＴＥＬ（0135）65-2255

発行責任者 施設長 髙橋　英俊
編集発行　むつみ荘広報委員会

面会等について

当施設では、緊急時を除く入居者様への面会並びに外出・外泊を禁止、「警戒ステージ1」になるまでは対面での面会は行わない事としております。LINE面会については、通常通り予約の受付をしております。御家族の皆様には何かと御不便をおかけしておりますがご理解ご協力を宜しくお願い致します。

職人の技が光る

今年度2回目となる委託業者ＬＥＯＣ様によるお寿司イベントが10月24日に行われました。職人が各ユニットを回り、握りたてのお寿司が振舞われ、利用者からは「地元のお寿司屋さんに負けないくらいおいしい」「茶碗蒸しも助六もいつも通り美味しい」と喜ばれていました。入居後初めて参加した利用者も「こんなに美味しいお寿司を食べれると思っていなかった」とビックリされていました。普段あまり食べない利用者もたくさん食べる事が出来、皆さんが大満足でイベントを終えることができました。

秋のお彼岸

9月23日のお彼岸に各ユニットでおはぎ作りをしました。利用者が中心となって作業を進め、「こうやって仲良くやれるのが一番だね。昔より上手にできないけど楽しい。」と皆さん楽しそうに作業されていました。出来上がったおはぎは、おやつとしてみんなで美味しくいただきました。

自然災害訓練

9月30日、震度6強の大地震が発生したとの想定で自然災害訓練を実施しました。それぞれの担当に分かれ、施設の被害状況の確認や利用者・職員の安否確認など今後の課題も見え、いつ起こってもおかしくない災害に備えた訓練を行う事ができました。

HAPPY HALLOWEEN

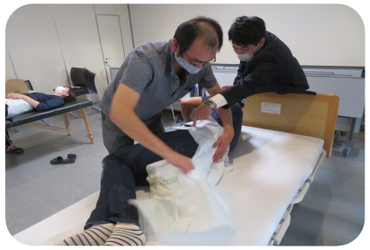
10月18日にすこやかユニットでは、オムライス、やきそば、スパゲティサラダ、コンソメスープなど人気のメニューを用意した昼食会をしました。「いやーすごいごちそうだね」「おかわりちょうだい！」と3杯以上おかわりする方もいて大好評でした。食べ終えた利用者は「いや一食べた食べた」と満足された様子でした。

ユニット紹介
さわやかユニット

特養2階さわやかユニットでは、計算ドリルを使って頭の運動をしたり、新聞紙やタオルたたみをしながら手先の運動などもして頂いています。食後にテーブルでお菓子を食べながら女子会を開いたりと、利用者同士の会話や笑顔が多いユニットです。6月には技能実習生のダンティトウヒエンさんを新たにユニット職員として迎えています。まだまだ、日本語を勉強中ですが、ユニット職員や利用者との会話の中で徐々に覚えてほしいです。これからも、明るく、笑顔の絶えないユニットでいれるよう職員一同、頑張って行きたいと思います。

排泄ケア研修
～技術の向上をめざして～

9月22日㈱光洋様を講師としてお招きし、排泄ケアの研修会を開催しました。10名程の職員が参加し、陰部の洗浄の仕方やオムツの基本的な当て方、男性の利用者に向けたパッドの装着方法を学びました。介護員が実際にオムツを装着し、どこから漏れやすいのかを体感し今後の排泄ケアに対する意識、技術の向上となりました。



可愛いプレゼントに心温まる

とまり保育所より、子供達が育てたじゃがいもや可愛い作品等をプレゼントしてしていただきました。ここ数年は利用者との交流が出来ていませんが、また交流できる日が来ることを楽しみにしています。ありがとうございました。

入居状況

【特養】　2022.10.25

市町村	入居	ショート
泊村	26 名	1 名
岩内町	13 名	
神恵内村	1 名	1 名
共和町	9 名	
寿都町	1 名	
余市町	2 名	
札幌市	1 名	
平取町	1 名	
	54 名	2 名

入居定員数60名
(ショートは空床利用)

むつみ荘では、入居等に関するご相談を随時受け付けております。入居に関するご質問・ご相談は、養護・特養共に【生活相談員】までお気軽にお問い合わせください。

【養護】　2022.10.25

市町村	入居	短期
泊村	22 名	7 名
共和町	6 名	
余市町	1 名	
札幌市	1 名	
	30 名	7 名

入居定員数30名、短期10名

施設長雑感

豊穣の秋。様々な果物や野菜をはじめ秋刀魚や鮭など、旬な食材の収穫が全盛期を迎え、ご家庭の食卓で堪能できる季節となりました。本施設の菜園でも、種々多様な野菜が実りを迎え、利用者様はもとより、職員も相伴に預からせていただくとともに、各ユニットにおいては、これら食材を用いて「ちゃんちゃん焼きイベント」を開催するなど、利用者様に季節の移り変わりを実感していただけるよう、努めているところであり、今後とも、これらイベントを開催した際には、利用者様の様子がご確認できますよう、お写真の提供など積極的に行うこととしております。

さて、コロナ感染症についてですが、昨今の感染者数の推移を見ますと、先日、後志管内でも感染者が三桁となるなど、ピークアウトに向かっているのか？いないのか？判断が困難な状況ではありますが、一方で“全国旅行支援”が開始されるなど、“WITHコロナ”の取り組みも盛んになっているところです。また、オミクロン株対応のワクチン接種も始まっており、本施設といたしましては、感染症予防対策に万全を期すことはもちろんのこと、このような情勢下において、何をどうして、どうすれば何ができるのか？今後、施設内及び関係機関の皆様との協議を進めたいと考えておりますので、引き続き皆様のご理解並びにご支援を賜りますようお願い申し上げます。

施設長
髙橋　英俊